

施政並びびに予算編成方針に対する質疑

町長の施政方針・予算編成に対し、4名の議員が質疑を行いました。その概要を質問者がまとめ報告します。

3期目最初の予算編成に のぞむ国内情勢の認識は



みずかみ けんじ
水上邦雄 議員

問 テフレ脱却・TPP・消費税増税・脱原発問題の住民に与える影響は。

答 少なからず影響が生ずると理解している。

問 脱原発の考えは。

答 個人的には原発NOである。

町の財政状況と町民負担は。

問 歳入における今後の見通しは。

答 上昇は緩やかに持続していくと考える。

問 国保税、低所得者の負担軽減が可能では。

答 財政の健全化を進めるため、応分の負担をお願いした。

問 水道事業会計の現金預金が多い。活用を。

答 運用先を検討することも必要と考える。

教育・子育て政策は。

問 小・中学校の老朽化したトイレの改修を。

答 計画策定後、改修していく。

問 小・中学校にエアコンの設置を。

答 現在のところエアコンの設置は予定していない。



トイレを含む施設整備が急がれる学校

問 小針北小児童クラブの増設は。

答 大規模化解消に向け検討していく。

問 保育所持機児童対策は。

答 認可保育所開園予定は、27年4月を予定している。

他に中央保育所の耐震化、商工業・農業問題を質疑した。

力強い農業の確立は



うのの きのし
上野克也 議員

6次産業化なども視野に入れ、持続的で力強い伊奈町の農業の確立を目指す。

問 農業振興として「人・農地プラン」の策定を受け、新規就農支援等を持続的で力強い農業の確立に努めるとある。

答 農業の現状は、農業者の高齢化と後継者不足、それに農産物価格の低迷などで営農が続けられない。また、農地の所有者別に見てみると、ごく小規模で作物を作っている「自給的農家」や、営農せずに土地だけを持つ「土地持ち非農家」で耕作放棄地が増加する傾向がある。

町長の具体的な構想・プラン等の見解は。

答 「人・農地プラン」を昨年から策定作業にとりかかり、このほど「人・農地プラン」をまとめた。

このプランには中心となる農業経営者に11名を位置づけた。

平成25年度以

降、農業経営者に農地を集積するため、農業者の掘り起こしを図っていく予定。

将来的には、生産法人等の育成や商工業や観光事業とも有機的に結びつけた、6次産業化などを視野に入れながら、持続的で力強い伊奈町の農業の確立を目指す。



伐採された梨畑

平成25年度予算編成について



かとうとしあき
加藤利明 議員

問 平成25年度予算編成は、どのような基本方針の下、予算編成されたのか。

答 具体的には、税収の増加を見込み、基金繰入金や地方債などを活用し、扶助費の増加などによる社会保障関連経費や、総合センター等公共施設の耐震化老朽化対策を含めた、安全確保に必要な財源を確保し、予算案を作成した。

問 重対策、地域の安全は地域で守る、住民自らが自主防災、自主防犯組織などは、その代表例である

と認識している。
問 国の補正予算と町の25年度実施予定の事業とがリンクするところがあるが、関連について伺います。
答 25年度予算では、電気自動車用急速充電器設置事業や、防災に関する事業である。



総合センター 耐震化予定

町の公用車として電気自動車を導入するとあるが

地球温暖化に基づき順次低公害車に切替



さいとつてるお
斉藤照夫 議員

問 購入価格はいくらか。
答 車両価格400万円、急速充電器300万円、合計700万円である。

問 役場内に急速充電器を設置し、町民に利用してもらおうと言うが、どの程度見込んでいるか。
答 急速充電器を設置した他、自治体の例で月6〜7回程度ときいているので、同程度の利用を期待している。町自体の調査はしていない。

面でも有効である。さらに町で早い時期に購入し、町民にPRし広く普及を図りたい。
また、近隣市での購入状況は、まだ低い数字となっている。

問 電気自動車を早急に購入する必要性は。また近隣市の購入状況はどうか。
答 国でも電気自動車を推進している。また地球温暖化防止策として環境



ハイブリッド式の町公用車